

研究主題「自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究」  
 - 「学校楽しいーと」を活用した効果的な働きかけを通して-

1 研究主題設定の理由

- (1) 平成21・22年度の調査研究の継承  
 児童生徒や学校を取り巻く状況は、いじめや不登校をはじめ、様々な生徒指導上の問題があり、生徒指導の充実が喫緊の課題である。このような状況においては、生徒指導上の問題に対処する指導だけではなく、児童生徒が自主的・自律的に判断、行動し、積極的に自己を生かすことができる、いわゆる自己指導能力の育成に重点を置いた積極的な生徒指導の在り方に関する研究が必要である。
- (2) 児童生徒理解に基づく組織的・計画的な生徒指導  
 積極的な生徒指導を推進するためには、確かな児童生徒理解に基づいた全教職員が一体となり組織的に取り組む計画的な生徒指導にすることが重要である。

2 研究内容

- (1) 「学校楽しいーと」の作成  
 小学生(1～3年生用, 4～6年生用), 高校生用を作成。  
 質問内容の精選, 短時間で簡単に入力集計ができるシート, 個人と集団の結果を視覚的に把握できるシートになるよう工夫した。質問項目を全校種統一したことで, 小学1年生から高校3年生までを比較することができる質問紙となった。
- (2) 「学校楽しいーと」結果の各学年の平均値と分布の提示  
 小・中・高等学校の児童生徒, 合計12,808人を対象に調査を実施した。
- (3) 「学校楽しいーと」の分析結果を踏まえた個人や集団に対する指導・援助の工夫  
 個人や集団に対する指導・援助の工夫については, 平成24年度に研究をまとめる。

3 「学校楽しいーと」の概要

- (1) 「学校楽しいーと」の作成  
 児童生徒の自己指導能力を育成するためには, 安心して学校生活を過ごし, 集団の中で居心地のよい人間関係や自己存在感を体感できることが必要である。  
 → 児童生徒の学校への適応感を把握する質問紙(妥当性・信頼性のある質問紙)

- (2) 「学校楽しいーと」の構成  
 全校種による予備調査の結果を統計分析したところ, 「学校楽しいーと」は次の内容で構成することとした。

|                                 |                                 |                                      |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 友達との関係 | <input type="checkbox"/> 教師との関係 | <input type="checkbox"/> 学習意欲        |
| <input type="checkbox"/> 自己肯定感  | <input type="checkbox"/> 心身の状態  | <input type="checkbox"/> 学級集団における適応感 |
| ※ いじめに関する項目                     |                                 |                                      |

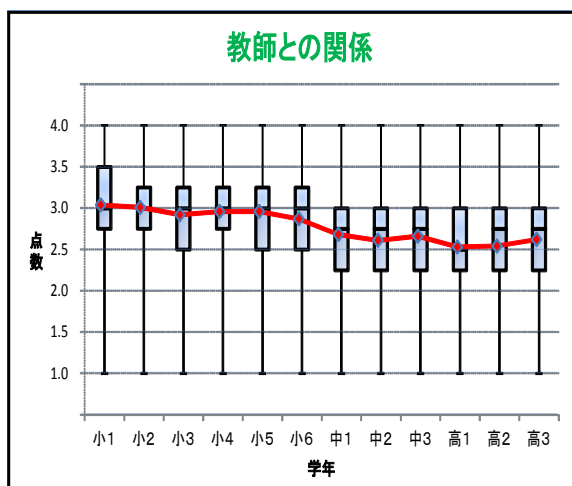
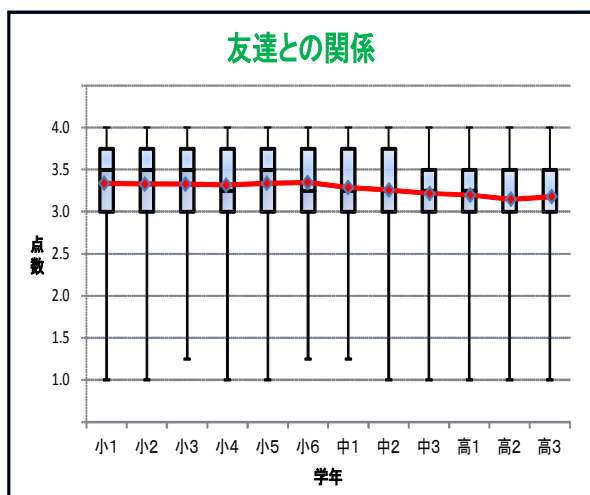
六つの観点とは各4項目, いじめに関する項目は2項目, 合計26項目で構成されている。回答は, 4件法とし, 結果を統計処理するために, それぞれの回答を数値化している。

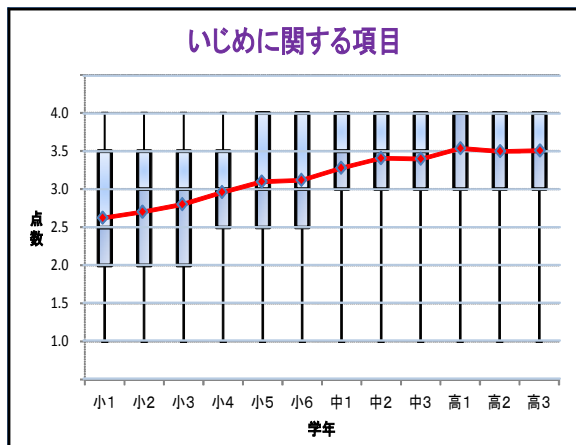
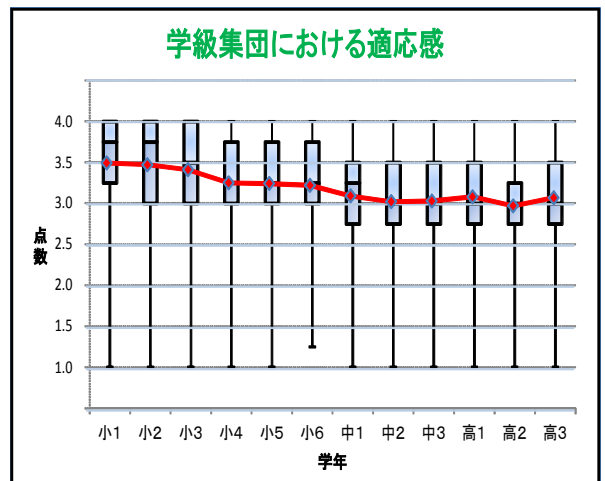
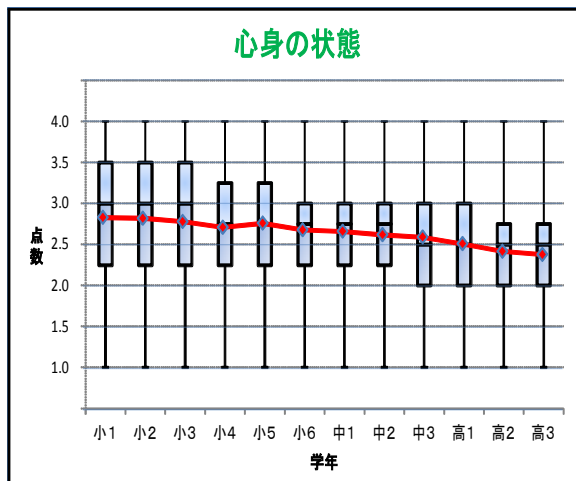
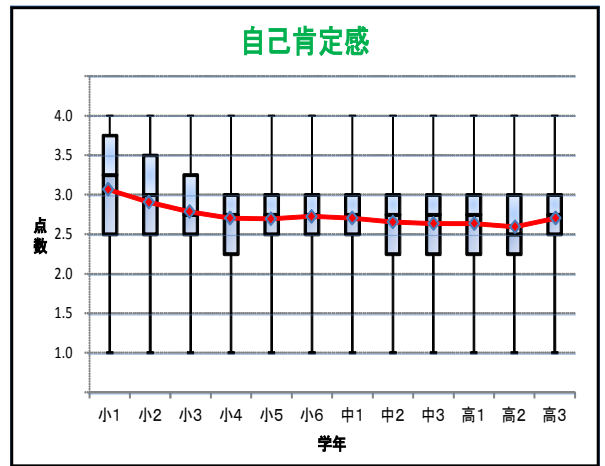
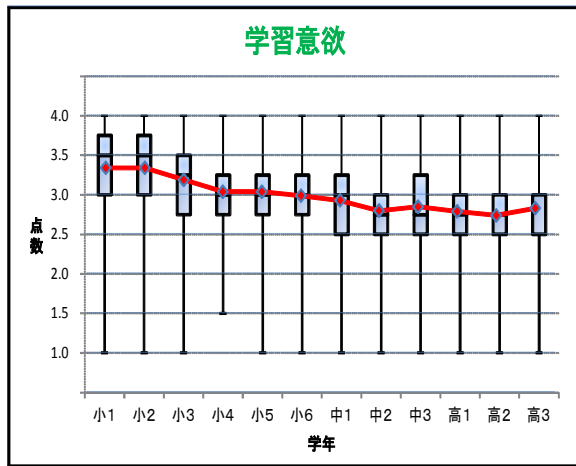
→ 質問項目の精選, 集計の簡素化, グラフによる結果の視覚化

- (3) 「学校楽しいーと」の実施方法  
 気になる児童生徒(個)や学級, 学年または学校全体(集団)で実施する。  
 → 効果的な指導・援助に生かす分析

4 「学校楽しいーと」による実態調査の分析結果

- (1) 6観点といじめに関する項目の状況(箱ひげ図で示す分布と折れ線グラフで示す平均値)





## (2) 考察

- 6 観点については、学年が上がるに連れて中央値は低下し、ばらつきは小さくなっていくことが明らかになった。また、いじめに関する項目は、学年が上がるに連れてばらつきが小さくなり、平均値が上昇する。
- 平均値だけで判断するのではなく、分布や特徴について理解した上で、子ども一人一人の状態に応じた適切な指導・援助を推進することが大切である。

## 5 今後の研究の方向性

本年度の研究で、児童生徒の個人の状態や学級など集団の状態を客観的に把握する「学校楽しいーと」が完成した。また、実態調査により各観点の平均値と分布、特徴を明らかにすることができた。今後は、主に次のことについて研究を進める。

- 「学校楽しいーと」を県内の学校に普及させる（センターWebサイトから提供）。
- 学校から多くのデータを収集し、分析を進める。
- 「学校楽しいーと」の分析結果を踏まえた個人や集団に対する指導・援助について研究する。

【平成23年度 調査研究発表会】  
 第8分科会(教育相談課)研究発表

自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究  
 - 「学校楽しいーと」を活用した効果的な働きかけを通して-

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

発表内容

- 1 研究主題設定の理由
- 2 研究内容
- 3 「学校楽しいーと」の概要
- 4 「学校楽しいーと」の実態調査結果
- 5 今後の研究の方向性

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

1 研究主題設定の理由

平成21・22年度の調査研究

自己指導能力の育成を目指した生徒指導

自己指導能力  
 児童生徒が自主的・自律的に判断、行動し、積極的に自己を生かすことができるよう社会的な資質や能力・態度

一人一人について深い児童生徒理解に基づく積極的な生徒指導の推進が求められている

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

1 研究主題設定の理由

児童生徒理解を深める実態調査の課題  
 設問: 児童生徒の実態調査を実施するに当たっての課題

■ 活用の在り方 ■ 適切な設問の在り方  
 ■ 分析の在り方 ■ 効率的なデータ処理の在り方  
 ■ 特になし ■ その他

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

1 研究主題設定の理由

妥当性・信頼性のある質問紙の必要性  
 「調査目的」、「調査内容」、「分析方法」、「活用方法」

妥当性と信頼性のある質問紙の作成及びその分析システムが必要

自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究  
 - 「学校楽しいーと」を活用した効果的な働きかけを通して-

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

2 研究内容

1 「学校楽しいーと」の作成

質問内容の精選  
 スピーディーな集計  
 結果の視覚化

① 小学生用 (1~3年生用)  
 ② 小学生用 (4~6年生用)  
 ③ 中学生用 ※昨年度完成  
 ④ 高校生用

2 「学校楽しいーと」による実態把握  
 実態調査実施 (小・中・高合計55校、約12,800人)

3 分析結果を踏まえた個人や集団に対する指導・援助の工夫 (平成24年度以降)

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 3 「学校楽しいーと」の概要

**内容構成**

安心して学校生活を過ごし、望ましい人間関係の中で自己存在感を体感できることが必要

鹿児島大学教育学部心理学科の協力

**予備調査の実施** → **科学的な統計分析**

- 1 友達との関係
- 2 教師との関係
- 3 学習意欲
- 4 自己肯定感
- 5 心身の状態
- 6 学級集団における適応感

※ いじめに関する項目 **2項目**

**6観点 各4項目**

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 3 「学校楽しいーと」の概要

**6つの観点**

- 1 学校には、気軽に話せる友達がいる。  
たくさんいる いる 3 あまりいない 全くいない 2 1
- 2 学校には、悩みや心配を相談できる先生がいる。  
たくさんいる いる 3 あまりいない 全くいない 2 1
- 3 学級の中にいると、明るく楽しい気持ちになる。  
とてもそう思う そう思う 3 あまりそう思わない 全くそう思わない 2 1
- 4 委員会活動や係(当番)活動での自分の仕事は、みんなの役に立っていると思う。  
よくある そう思う 3 あまりそう思わない 全くそう思わない 2 1
- 5 授業中に「できた」「わかった」と感じることもある。  
よくある いる 3 あまりない 全くない 2 1
- 6 落ち込むことがある。  
よくある いる 3 あまりない 全くない 2 1

**逆転項目**

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 3 「学校楽しいーと」の概要

**(例)「友達との関係」の質問**

1 学校には、気軽に話せる友達がいる。  
たくさんいる いる 3 あまりいない 全くいない 2 1

たくさんいる→4点 いる→3点 あまりいない→2点 全くいない→1点

「友達との関係」の合計 → 4点 ~ 16点

他の観点についても同様

※ **逆転項目**は、回答入力時に点数を自動的に**再変換し、表示される。**

20 自分が困っているとき助けてくれたり、協力してくれたりする友達がいる。  
たくさんいる いる 3 あまりいない 全くいない 2 1

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 3 「学校楽しいーと」の概要

**入力から出力までの実際**

入力 → 運動 → 出力

簡単! 入力シート → 見やすい! 個票・学級シート → 不適応行動の未然防止、早期発見、早期対応

スピーディーに処理

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 4 「学校楽しいーと」の実態調査結果

**調査の趣旨**

本県の児童生徒の「学校楽しいーと」結果の平均値と分布を明らかにする。

**実施時期** 【平成23年11月~12月】

**調査対象**

|                | 小学校             | 中学校             | 高等学校           | 合計               |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| 全体             | 568校            | 245校            | 77校            | 900校             |
| 5%以上<br>(調査人数) | 34校<br>(6,617人) | 16校<br>(3,141人) | 5校<br>(3,050人) | 55校<br>(12,808人) |

鹿児島県総合教育センター 教育相談課

### 実態調査結果の前に・・・

**中央値と平均値の違い**

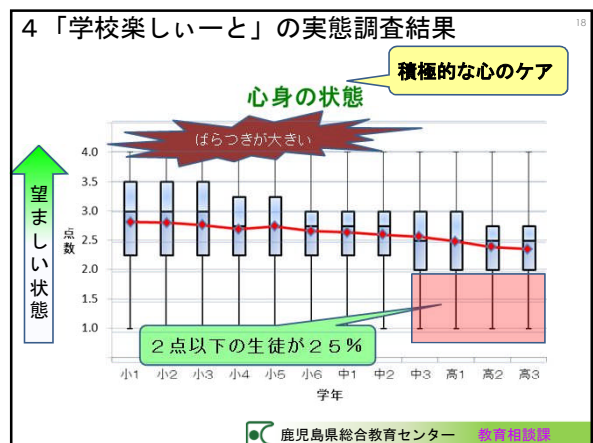
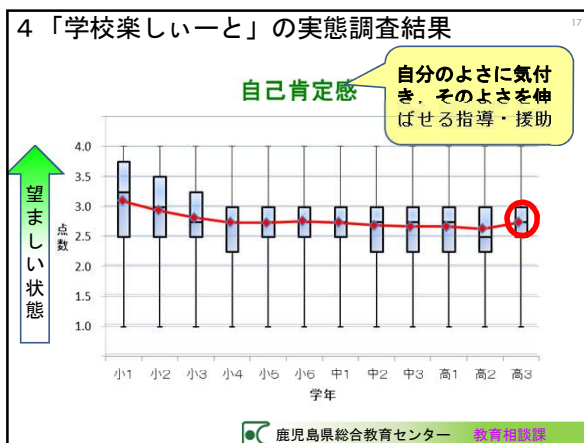
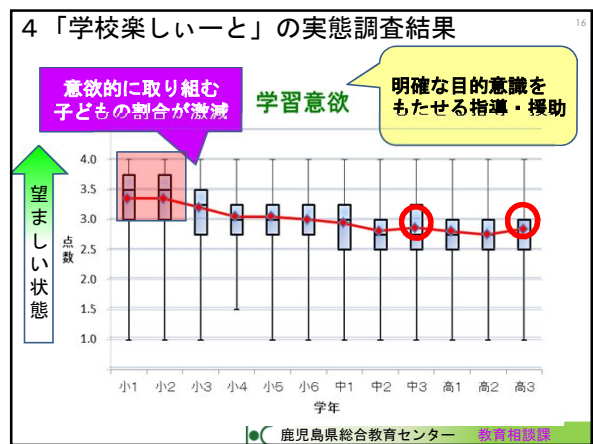
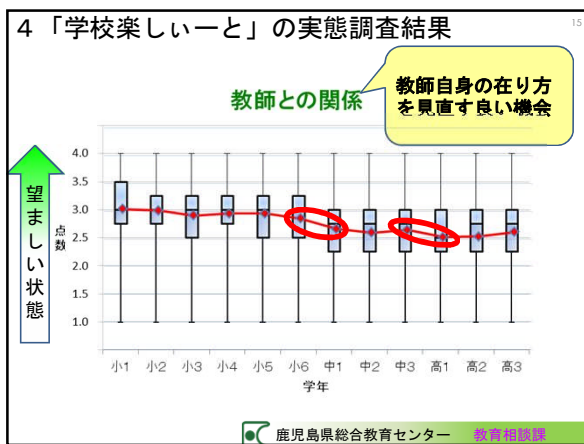
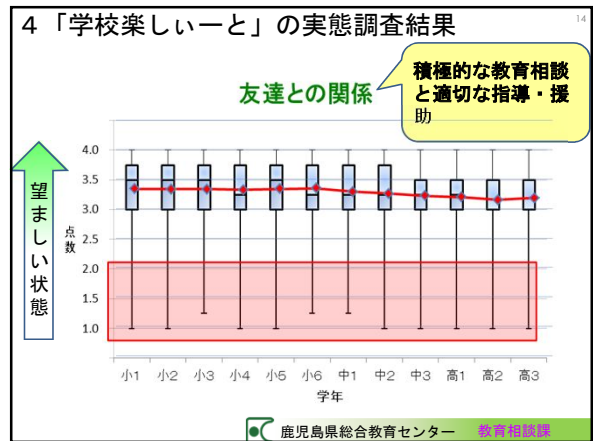
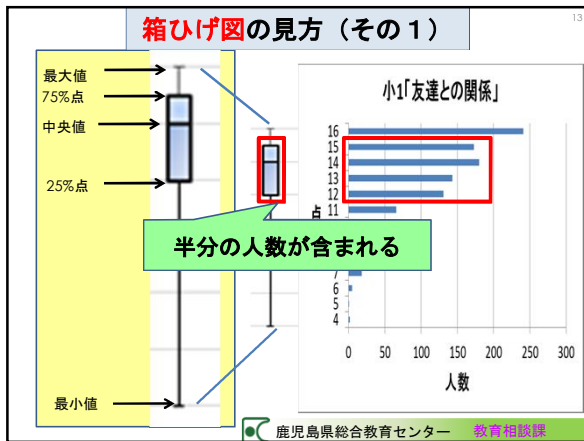
(例) 2, 3, 4, 7, 9

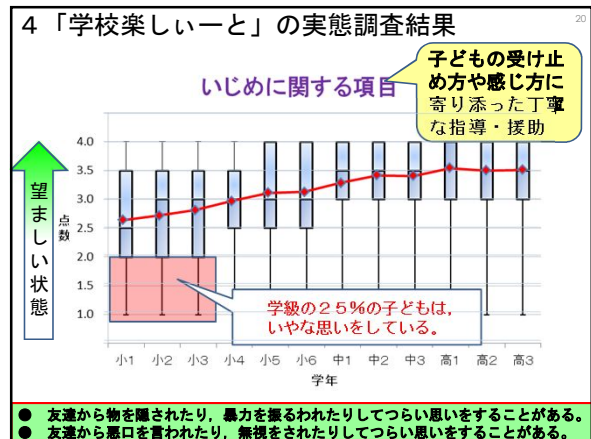
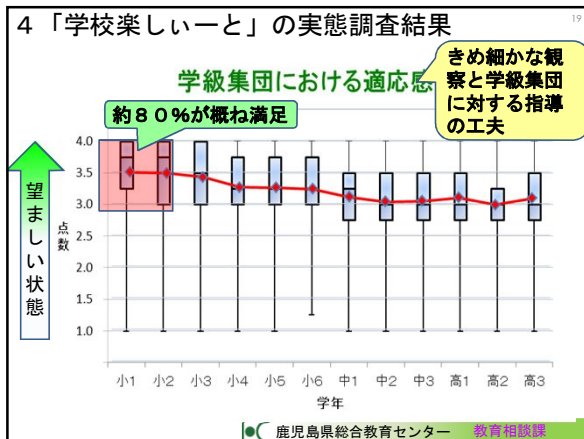
【中央値】データを小さい順に並べたときの真ん中の値・・・4

【平均値】  

$$\frac{2 + 3 + 4 + 7 + 9}{5} = 5$$

鹿児島県総合教育センター 教育相談課





- #### 5 今後の研究の方向性
- 21
- 「学校楽しいと」を県内の学校に普及させる（センターWebサイトから提供）。
  - 学校から多くのデータを収集し、分析を進める。
  - 「学校楽しいと」の分析結果を踏まえた個人や集団に対する指導・援助について研究する。
- 鹿児島県総合教育センター 教育相談課